瞳を輝かせて
Brilliant Eyes

目標は大学日本一

愛知学院大学野球部4番として秋季1部リーグ優勝、明治神宮野球大会出場に貢献

前田（まえだ） 英雄（ひでお）さん（三好丘）

愛知大学野球1部リーグで優勝39回を誇る強豪、愛知学院大学硬式野球部。今回は、その愛知学院大学野球部で4番打者を務め、昨年の秋季リーグ戦優勝、東海・北陸・愛知大学野球王座決定戦制覇を果たし、明治神宮野球大会出場に貢献した前田英雄さんを紹介します。

「高校時代は、県大会2回戦止まり。不完全燃焼のまま終わってしまい、自分の中ではもっとやれるんじゃないかという思いがありました」と話す前田さん。より高いレベルでプレーしたいと、さらに野球に打ち込める環境を求めて大学野球の名門愛知学院大学に進学しました。初めは大学野球の高いレベルに不安も覚えましたが「自分は人より練習しないとうまくなれない」と人一倍バットを振り込みました。しかし1年生の冬、ひざを故障して手術。2年の前半をけがで棒に振りました。休んでいる間は「焦るより今は、ちゃんとけがを直してしっかりプレーできる体をつくろう」と気持ちを切り替えたといいます。復帰後、毎日夕方5時から2、3時間の全体練習の後、遅れを取り戻すため自主練習で必死に打ち込みました。「高校時代はがむしゃらに振っていたけど、今は得点圏でランナーをかえすにはどうしたらよいかと普段の練習から考えています」と状況に応じた打撃を心掛けます。

その勝負強い打撃力を買われ、3年の春からレギュラーに定着。秋のリーグ戦には4番を任され、リーグトップの3本塁打を放ち、春に逃したリーグ戦のV奪回に大きく貢献しました。

愛知大学リーグ覇者として出場した東海・北陸・愛知大学野球王座決定戦。順調に駒を進め、明治神宮野球大会への出場権を懸けて決勝戦に臨みました。0対0の緊迫した試合展開の中で迎えた7回の前田さんの打席、「つなげばなんとかなる」と出塁することだけを考えて思い切り良く振り抜いた打球は、レフトスタンドに飛び込む先制の本塁打。ベンチに戻った前田さんは「まだ終わりじゃない。試合終了まで集中しよう」と声を掛け合いました。その貴重な1点を最後まで守り切り見事優勝。あこがれの舞台への出場をつかみ取りました。

前田さんにとって初めての全国大会となった明治神宮野球大会。結果は、期待されながらも戦前の予想を裏切る1回戦敗退。「緊張しないようにしようと意識しすぎて、逆に普段どおりのプレーができませんでした」と悔しさをにじませます。

現在、チームは春季リーグ戦開幕に合わせ調整中。前田さんは「目標は大学日本一。しっかり練習して力をつけて挑戦したいです」とさらに高い目標に向け主将としてチームを引っ張ります。

▶▶▶プロフィル

まえだ・ひでお　昭和62年生まれ。愛知学院大学心身科学部4回生。硬式野球部主将を務める。身長170㎝、体重80㎏、右投げ右打ち。北中学校出身、三好高校卒業。高校までは投手と捕手をこなし、高校時代は通算45本の本塁打を記録した強打者。持ち味の打撃を生かすため大学1年の冬、捕手から外野手（ライト）へコンバート。3年の春と秋のリーグ戦で2季連続でベストナインに輝く。将来の夢である野球の指導者になるため、現在、教員免許の取得を目指している。

▶昨年11月の東海・北陸・愛知大学野球王座決定戦の決勝。値千金の決勝本塁打を放った。この活躍で大会の最優秀選手賞を獲得した。

Happy Birthday おめでとうお誕生日 4月

平野湊大くん（山伏） 平成18年4月3日生

父・裕万さん　母・陽香さん

『絵本が大好き』

いつもおやすみ前にパパに絵本を2冊読んでもらうそうくん。図書館に一日中いても飽きないんだって。100ピースのジグソーパズルも15分でつくれるんだよ。将来はバスの運転手さんになりたいそうくんに「健康で思いやりのある人になってね」とお母さん。

山田祐菜ちゃん（黒笹） 平成18年4月6日生
乃愛ちゃん 平成20年4月17日生

父・和正さん　母・美樹さん

『仲良し姉妹』

ゆなちゃんが遊んでいると、まねをしてみようとするのあちゃん。ゆなちゃんが歌うと、のあちゃんはリズムをとって踊るんだって。ゆなちゃんは、のあちゃんにご飯を食べさせてあげるんだよ。「いつまでも姉妹仲良く、優しい人になってね」とお母さん。

柘植向陽くん（西一色） 平成18年4月4日生

父・邦彦さん　母・正子さん

『愛車でお出掛け』

三輪車に乗ってお出掛けするのが大好きなこうちゃん。かけっこをしたり、ブランコに乗ったり、体を動かして元気いっぱいに遊んでいるんだって。数を数えられるようになったこうちゃんに「健康で何事も自分で判断できる人になってね」とお母さん。

HIMAWARI お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

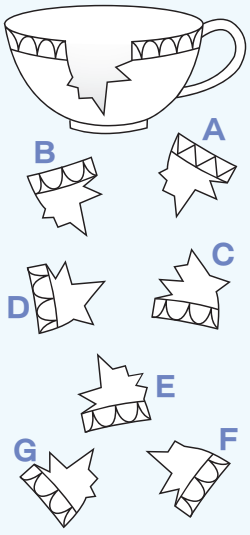
▲出場者募集

【6月のお誕生日コーナー】

▶応募期間＝5月1日から8日まで（土・日曜日、祝日除く）　▶対象＝6月生まれで3歳未満の児
▶応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)8357
※4月生まれの応募は、16人でした。（抽選により掲載決定）

？広報クイズ

問 ティーカップの割れてしまった部分に形と模様がぴったり当てはまる破片はどれでしょうか。AからGの中から一つ選んでください。



【応募方法】①答え（例：A）②郵便番号③住所④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。
※抽選は、各応募ごとに番号を付け、同じ番号の付いた均一な形状のカードで行います。

【あて先・送信先】
はがき…〒470-0295三好町役場秘書広報課（住所の記入不要）
ファクス…FAX(34)6008
電子メール…hisyokoho@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】4月10日（金）必着

【3月号の正解と当選者】
答え：はさみ、セロテープ（テープカッター）（全59通正解59通）安藤八重子、奥村昌一、川添さくら、城山京子、高松八重子、濱田富美子、堀木清、牧原楓、水谷ひろみ、山本恭子（敬称略）

※ご応募いただいた個人情報は、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。

まちの話題

Machi no Wadai

町内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、三好町ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「町政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。 http://www.town.aichi-miyoshi.lg.jp

記念樹と一緒にすくすく成長

緑と花フェスタ・記念樹の配布

緑と花フェスタが3月7日、緑と花のセンター「さんさんの郷」で開かれました。緑化推進や地産地消などの一環として毎年行われているこの催し。緑化木などの配布やクジ引き、結婚・出産などの記念樹の引き換えのほか、野菜などの販売やフリーマーケット、子どもたちに大人気のミニ動物園と児童遊具など内容は盛りだくさん。中でも緑と花のクジや、おでんのサービスのコーナーには行列もでき、多くの人でにぎわっていました。記念樹の引き換えに訪れた家族連れは「女の子が生まれたので記念にもらいにきました。これから会場をいろいろ見て回ります」とイベントを楽しんでいました。

結成10周年を祝う歌声

みよし少年少女合唱団定期演奏会

結成10周年を迎えた、みよし少年少女合唱団の定期演奏会が3月1日、サンアートで開かれました。オーディションで選ばれた小学校1年生から高校3年生までの団員が歌声を重ねるこの合唱団。この日は「友達になった日」や「空にかいた12の童話から“もし、空になれたら”」「シンデレラから“ビビディ・バビディ・ブー”」などを披露しました。曲の中には振り付けがあるものもあり、団員たちは体全体を使って歌を表現。見ても楽しい演奏会に観客席から盛んに拍手が送られていました。

子育てから始めるまちづくり

NPO・協働講座「ベビーマッサージ」

NPO・協働講座「ベビーマッサージ」が3月10日、サンアートで開かれました。子育ての視点をまちづくりに取り入れ、子どもたちが元気に育つことでまちの元気にもつなげようと開かれたこの講座。

講師のNPO法人わが家(や)流子育て応援団ふりあん代表の江口(えぐち)このみさんからマッサージの方法や注意点などの説明を受けた後、参加した親子11組が早速実践。お母さんが体を優しくマッサージすると赤ちゃんたちは気持ちよさそうな笑顔を見せていました。また参加者はお互いに自己紹介や情報交換をしてママ友の輪も広げていました。

思い出を胸に、新たな旅立ち

中学校卒業証書授与式（三好丘中学校）

町内４つの中学校で３月6日、卒業証書授与式が行われました。今年度、中学校卒業を迎えたのは588 人。三好丘中学校では186人の卒業生が体育館に入場しました。式の初めに、磯村節男（いそむらせつお）校長が卒業生一人一人に卒業証書を授与し「仲間を生涯の友とし母校をふるさとと思い、それぞれの道に大きく羽ばたいてください」とお祝いの言葉を贈りました。

また在校生の送辞に続き、卒業生が代表２人をはじめ全員で、決意や学校生活の思い出、恩師へのメッセージなどを語り「旅立ちの日に」を合唱。卒業生の目には涙も見られ、３年間の思い出に溢れた学び舎を巣立っていきました。

こころにビタミンを！

みよし悠学カレッジ一般公開講座

みよし悠学カレッジの一般公開講座が２月28日、サンアートで開かれました。およそ100人が参加したこの講座。悠学カレッジ学長の松尾稔（まつおみのる）さんによる「科学･技術 科学技術」と題した講演と、元殿さまキングスでＮＰＯ法人「命のつどい」理事長を務める多田（ただ）そうべいさんの「大人の寺子屋　こころにビタミンを！」と題した講演会が行われました。多田さんは学校の授業風に参加者の中から級長を指名するなどユーモアいっぱいの話を展開。持ち歌の「なみだの操（みさお）」を一緒に歌うなど、参加者は終始笑顔が絶えませんでした。

桃の節句「おこしもの」づくり

ひなまつり会（茄生保育園）

町内の各保育園で3月3日、恒例のひなまつり会が開かれました。茄生保育園では園児たちがひなまつりについてのお話を聞いた後、この地域で昔から桃の節句に供えられてきた「おこしもの」づくりを体験。青組・黄組の97人の園児たちは、おじいちゃんやおばあちゃんが水と米の粉をこねてつくった練りもちを、動物などさまざまな形の木型に詰め、次々と型から起こしていきました。その後、園児たちがお礼の気持ちを込めてピアニカの演奏などを発表。女性の一人は「孫と一緒に楽しい時間を過ごせました」と笑顔でした。

手づくりコースに手づくり看板

さんさんスポーツクラブ看板設置

総合型地域スポーツクラブ「さんさんスポーツクラブ」の活動の拠点である明越（あけこし）会館に3月11日、手づくりの看板が設置されました。これは、同クラブで活動する明越グラウンドゴルフクラブの有志の皆さんの手によるもの。この日は、平成20年度に同じく手づくりで整備されたグラウンドゴルフコースの案内板も設置されました。

明越グラウンドゴルフクラブの高橋好人（たかはしよしひと）会長は「このコースは、打ち上げや打ち下ろし、芝コースもある町内屈指の難コース。多くの人に利用していただきたいです」と話していました。コースの利用は無料。申し込みは、日・月曜日、祝日を除く午前9時から正午までにさんさんスポーツクラブ事務局まで電話（☎(34)3621）、または直接。